



2学期が終わりました

1学期が7月31日に終了し、短い夏休みを挟んで2学期は8月18日に始まりました。2学期の授業日数は89日間でした。

2学期が始まって、特にコロナ感染防止と熱中症防止の諸対応に苦労しました。熱中症防止対策では、肩掛けカバンでの登校、日傘の活用、塩分補給タブレットの配付他、できる限りの対応を取りました。

9月末に実施した林間学校に向けて、コロナ感染防止の事前対策を家庭のご協力をいただきながら、入念に行いました。宿泊を伴う活動であることから、無事に終わるまで心配でしたが、5年生の子供たちは笑顔で活動し、林間学校を成功させました。

この5年生の林間学校での感染防止の取組や経験は、次に行った修学旅行で大変に役立ちました。6年生の修学旅行は、2泊3日で最終的に山梨県内の県内修学旅行としました。見学先やバス乗車時の手指消毒、車内では静かに過ごすこと他、いろいろな制約がありましたが、子供たちはよく理解してくれていました。雨が降っていましたが、思い切ってやってみたパターゴルフでは、子供たちが楽しく活動する姿に感動しました。

1年生から4年生の校外学習も感染防止対策を徹底しながら取り組みました。子供たちも楽しく学習することができました。

1つの行事が終わると、次の行事の事前対策を何度も練り直す作業が連日続きました。特に11月に実施した秋季運動会は、何度も何度も検討を重ねて実施に臨みました。運動会の係活動を通して、6年生の成長を図りたいという教師側のねらい通り、6年生が最高学年として活躍しました。そして、来年度への更なる改善の手がかりをつかんだ運動会にもなりました。

日常の学習や生活は、「新しい生活様式」を基準に、可能な限りの「学びの保証」に取り組むよう職員に指示をしました。そのためには、放課後の時間を最大限、明日の授業の準備に充てられるようにしました。児童を下校させる時は時間通りに一律に帰して校舎内に残さないようにして、その後の消毒作業は保護者や地域の方と一緒に頑張りました。また、消毒作業後の時間を大切に、時間がかかる電話対応も、可能な限り効率よく取り寄せました。とにかく、「わかりやすい授業」を行うためには、放課後の時間を授業の準備、教材研究にあてさせないと授業は充実しないことを改めて感じました。

子供たちは、コロナ禍で精神的にも心配であることから、相川小では、「心の支援」に積極的に取り組みました。スクールカウンセラーによる児童全員

面談は、3学期中には完了します。また、コロナに関わる偏見や差別について考える学習、スマホ・ゲーム障害について知る学習などに取り組みました。

給食は子供たちの楽しみの1つです。通常食に戻ってからも、子どもたちの残菜が減りました。新しい生活様式での給食活動は、「食べる」という営みが、一層大切にされたものになりました。学校給食において、食品ロスを減らす、無駄なプラスチック類を減らすこと等も学校側の今後の課題です。

最後になりますが、猛暑の中の登校、教室環境の整備、学校行事実施に向けての対策などホームページのブログを見ると、この4か月の間、厳しい状況の中でも子供たちは毎日生き生きと学校生活を送ることができました。「マスクの下の笑顔」を見つけることが、私たち教職員の喜びでもありました。子供たちに助けられた、支えられた思いで一杯です。

このように子供たちが生活できたのも、お子様の健康管理の面でご配慮をいただいた保護者の皆様のおかげです。またこの間、1学期に引き続き、教育ボランティア、全館消毒作業への協力、古布やスプレー、消毒液のご寄付等、学校教育活動へのご理解とご協力には深く感謝を致します。本当にありがとうございました。

12月26日から1月11日まで17日間の冬休みとなりますが、健康に気をつけ、有意義な冬休みとなりますよう、休業中の子供たちへの御指導をお願い致します。

2学期終業式の話

おはようございます。

今日で89日間の2学期が終わります。

さて、2学期の始まりにみなさんには、次のようなお話をしました。それは、「学校で勉強すること」「友達と過ごすこと」「先生に教えてもらうこと」を大切に生活してくださいというお話でしたね。

どれも「当たり前」のことですが、このことをみなさんが、2学期の間、とても大切にしていることが、いろいろな場面でわかりました。

「学校で勉強すること」では、楽しい勉強も、苦手な勉強も1時間1時間を大切に取り組んでいました。算数の時間では、難しい問題もあきらめないうで、一生懸命に考えていました。体育の時間は、友達と協力して楽しく

運動する様子が見られました。

「友達と過ごすこと」では、やっぱり友達がいるから学校は楽しいですね。友達と一緒に遊んで楽しいということだけでなく、道徳の授業や担任の先生のお話から、本当の友達という意味を考えることができました。また、コロナ感染症の学習では、友達を差別をしないことも学びました。

「先生に教えてもらうこと」では、授業中に先生方の話をよく聴いていて、よく考えている友達が増えてきました。また、先生たちもみなさんの勉強をわかりやすく教えるために、いろいろな工夫をしていました。みなさんと先生方が協力して、授業を創り上げました。

このように林間学校や修学旅行、そして運動会などの大きな行事は、みなさんと先生たちが力を合わせて成功させることができました。その度に校長先生は、うれしくて涙が止まりませんでした。

みなさんが「やればできるは魔法の合言葉」の言葉を大切に、マスク下の笑顔で先生たちを励ましてくれました。校長先生は、みなさんに感謝しています。本当にありがとう。

新しい年を迎えると、学校は3学期です。

冬休みは、とにかく健康で過ごすことです。交通事故への注意、そしてゲームやスマホのやりすぎは、気を付けてくださいね。

3学期最初の1月12日に、元気に学校に来てくださいね。

これで、校長先生のお話は終わります。真剣にお話を聴いてくれて、ありがとうございました。

相手を思い遣る気持ちで

直近の新型コロナウイルス感染症の1日あたりの全国感染者数は3500名を上回り、これまでの最高値となっています。

山梨県内においても、前月に比較して月別の感染者数は増加し、1日あたり10名以上になるということも出てきました。

以前にもお話をさせていただきましたが、「誰でも感染者になりうる」ということです。そして、偏見や差別は絶対にしてはならないということです。

これまでは、感染者を出さないように努めるという意識でしたが、今後は、「集団感染（クラスター）を起こさせない」ということが大切になってくると思います。誰でも感染する可能性があるのですから、学校においては感染防止対策が大切であり、その中でも「集団感染」は絶対に防がなくてはなりません。

これから、年末年始を迎え、そして1月12日には3学期が始まります。人の移動も気になります。

万一の場合には、みんなが思い遣る気持ちをもって、事後対応を協力して行って、事態を迅速に終結させることが大切です。

3学期の行事について

現時点での3学期の主な行事についての状況をお知らせします。今後の感染状況の拡大により、予定している行事が延期や中止、内容の変更等が生じる可能性があります。

①「授業参観・学年総会」（2月）

実際の授業参観は「3密状態を避けられない」と考えています。オンライン配信等はネット回線が適していないため、実施できません。現時点では、学級懇談会の必要性に鑑み、学年総会・授業参観は中止とし、学級懇談会（事前収録の授業視聴を含む）の方向で検討しています。

②「スプリングコンサート」（2月）

10月中旬より合唱部は感染防止対策をとって、活動を再開しています。今後の感染状況他を総合的に見極めながら、時間短縮を含む人的な制限を図った上での実施が可能かどうか検討していきます。

③「6年生に感謝する会」（2月）

先と同様に、今後の感染状況他を総合的に見極めながら、方法や内容を工夫して実施が可能かどうか検討していきます。また、事前の取組については、最低限の取組時間に絞ります。本来の教科学習の遅れ、復習定着を最優先にしたいと思います。

④「卒業証書授与式」（3月）

現時点では、甲府市教育委員会より校長会を通して大卒の方向性が示されています。これを元に式運営についての検討を始めています。

子供たちを元気づける言葉

子供たちの気持ちを元気づけたり、励ましたりするために、養護教諭がメッセージを作りました。児童玄関内の大型テレビで紹介しています。

- 笑顔でいると 幸せが近づいてくる
- まずは楽しむこと そのためには力を抜こう
- 本気でやっていたら 誰かが必ず助けてくれる
- 「今日も楽しくするぞ」と思って過ごした方が得
- 君が失敗したから みんなが学べたんだ
- やさしい心は つよい心
- 「やらされている」と思うと重くなる
- 家族にこそ ありがとう
- また明日っていうと なんだか楽しくなる
- 迷ったら 挑戦してみよう
- あなたの笑顔で 幸せの魔法を